

まち全体をキャンパスに(中京学院大学と連携協定)

中京学院大学(大西健夫学長)と中津川市は、地域の発展と優れた人材の育成を目指し、相互に連携する協定を結びました。

2月12日に行われた協定締結式で、大西学長は、学生の活動が山あいのキャンパスに限られ、地域や学生以外の人との関わりが少ないことを踏まえ、「地域イベントなどへの参加で様々な年代の方と交流し、ボランティア活動などの社会貢献を通して人材育成を図りたい」とこの協定への期待を述べられました。



中京学院大学の学生は、人格形成の大切な時期を中津川市で過ごすこととなります。市全体をキャンパスとして活用し、まちをあげて若い学生の将来を応援できるよう、市と大学は相互に協力していきます。

